

こんにちは ふくま健治です

活動報告ニュース
2016年9月号

市政懇談会開かれる

ご参加とご意見ありがとうございました。

8月6日(土)、コンパルホールで開かれました。私は、参議院選挙結果と支援のお礼、6月市議会報告と9月市議会へのとりくみを報告し、懇談しました。



参加者からは「戦争法廃止の展望について」「伊方原発の再稼働中止を」「別府警察署の労働団体への

(コンパルホールにて) 隠し撮りについて」「歩行者天国について」「197号線の歩道拡幅について」などの意見・要望が出されました。

第3回定例会は、9月1日開会です。寄せられた意見・要望を積極的にとりあげていきます。

大分県と県生健会との協議

伊方原発再稼働中止、熊本大分地震被災者支援を

8月8日(月)、大分県土地改良会館で行われました。臼杵市、別府市、大分市の役員・会員らが参加しました。40項目の要望について、意見を交わしました。



伊方原発については「広域避難体制もない、地震での被害はさけられない、基準を厳しくしても、1

(土地改良会館にて) 00%の安全の保証はない、再稼働中止を」熊本大分地震対策では「一部損壊への支援を」公営住宅では「狭いお風呂の改修を、シャワー設置を」障害者対策では「医療費の現物給付方式への転換を」「生活保護世帯も指定病院での検診実施を」など、切実な要求がだされました。★狭いお風呂の改修は困難で、住み替えをすることになりました。

政府要望・レクチャーへ参加

8月23日・24日、日本共産党大分県地方議員団として、厚生労働省、国土交通省、環境省、経済産業省などに、市民から寄せられた切実な要求の実現を求めました。



田村・真島両衆議院議員、仁比参議院議員も同席し、後押しをしていただきました。

(ばいじん対策の要望提出) 大分市議団は、熊本大分地震被災者への対応、伊方原発再稼働中止、国民健康保険・介護保険の改善、就学援助制度、臨海工業地帯の防災対策、新日鉄住金のばいじん対策、漁業振興、JR駅の無人化解消とバリアフリー化、などについて、意見交換をおこないました。



伊方原発再稼働については「住民の理解が必要、どこにでも説明に行く」就学援助の単価引き上げ、

(介護保険改善求める福間) 入学準備金前倒支給については「必要と考えている」熊本大分地震被災者支援、避難所の改善などについては「6月より、各省庁で検証作業チームを立ち上げ、7月よりワーキンググループで、避難所などのあり方について検討をしている」などの回答がありました。国保では、差し押さえなどの実態、介護では、



保険料軽減などを、要求しました。
(チキリンを踊る福間)

暮らしや地域の要求をお寄せください

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6
546-4505 (FAX兼用)
携帯090-2714-5612

